

1982:FONAR QED-80 α 中津川市民病院に据付

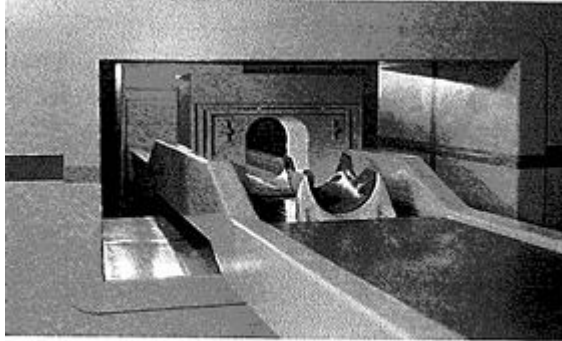


図1. Fonar QED 80-alpha 開口部

Fonar社(社長は、初期のMRIの研究者の一人 Raymond Vahan Damadian)の0.05T 永久磁石を使ったMRI装置QED-80 α が、国内で初めてのMRI装置として、1982年中津川市民病院に搬入され、治験を開始した。

このMRI装置は、磁場焦点法を使って組織のT1,T2値を計測できる機能を持ち、MRI装置として米国FDAの認可を初めて得ている。

国内では、持田製薬が代理店として輸入した。

参考文献 古瀬和寛他「NMR臨床応用の初動記と生体緩和時間研究の歩み」日本磁気共鳴医学会雑誌第11巻4号pp.251-267 (1991)

図は、上記文献より転載